

〒793-0065 西条市榎木 54-1
 TEL (0897) 57-9543 FAX (0897) 57-6221
 eメール tachibana-k@saijo-city.jp

令和5年10月1日
 橋公民館発行
 通巻514号

橋校区の人口(8/31 現在)
 総人口 1,782人 (-1)
 (男 860人) (-3)
 (女 922人) (+2)
 世帯数 829 (±0)

カラー版は西条市役所ホームページで
 ご覧になれます。

橋校区秋の一斉清掃

日時：10月1日(日) 8:00~

橋を美しく! 地域の皆様のご協力をお願いします。



10月の行事予定

日	曜	公民館関係・地区行事
1	日	秋の一斉清掃
2	月	休館日 防災士定例会 (19:30~)
4	水	民生児童委員定例会 (19:30~)
6	金	さわやかクラブ世話人会 (13:30~) 橋地域未来塾 防犯協会定例会 (19:30~)
8	日	たちばな愛ちゃん教室 (10:00~)
9	月	休館日 (スポーツの日)
10	火	休館日 (振替休館日)
14	土	休館日 (臨時休館) 地方祭
15	日	休館日 (臨時休館) 地方祭
16	月	休館日
19	木	いきいき橋 (健康教室) 稲刈り (橋っ子ランド)
20	金	橋地域未来塾
23	月	休館日 さつま芋掘り (橋っ子ランド)
25	水	人権・同和教育研修会 (19:00~)
27	金	橋地域未来塾
30	月	休館日

10月 カワセミ号 (移動図書館)
 橋公民館 5日・19日(木) 13:25 ~ 13:55

人権・同和教育研修会

《日時》10月25日(水)
 19時00分~

《場所》橋公民館 2階ホール

《実践発表》『誰もが輝いて生きる
 ~パパは女子高生だった!』

《発表者》西条西中学生



友愛訪問

9/8(金) さわやかクラブの皆さんが、90歳以上の方と一人暮らしの高齢の方のお宅にプレゼントを届けました。心のつながりを感じる、心温まる時間となりました。



橋の未来を拓く会(TMH)メンバー募集

『橋の未来を拓く会』は、より住みやすく、より豊かな橋を創るために設置されたものです。「地域未来ビジョン」を実現するため、様々な提案・提言を行い、実施をいたします。

- ★ メンバーは年齢・性別を問いません。
- ★ 学生さん(高校生以上)でもOKです。

橋を良くしたいという
 熱い思いをお持ちの方、
 ぜひご応募ください!



【問合せ・申込み先】橋公民館 Tel. 57-9543

第62回 交通安全県民大会

受賞 おめでとうございます!



【交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部長感謝状】
 西坂 道輝さん(西田)

【愛媛県警察本部長・愛媛県交通安全協会会長連名表彰】
 優良運転者 村上 和孝さん(野々市西)

スポーツ教室 ~グラウンドゴルフ~

9/12(火) 4年ぶりのスポーツ教室です。久しぶりにプレーをした方もいらっしゃいましたが、和気あいあいと楽しく競技を行いました。



グラウンドゴルフは、ルールもわかりやすく、子どもから高齢者の方まで、初心者も楽しめるスポーツです。



10月 ローソン移動販売

- 15:00~15:15 野々市集会所
- 15:20~15:35 榎木西
- 15:40~15:55 榎木集会所(阿弥陀堂)
- 16:00~16:15 西泉中
- 16:20~16:35 西泉東(民部さん)
- 16:40~16:55 西田集会所
- 17:00~17:10 相生

4日(水)
 11日(水)
 18日(水)
 25日(水)

西田



石岡神社祭礼

~令和5年屋台運行予定~

10月13日(金) 橋屋台統一運行

- 19:00 坂元集会所前
- 19:15 天満神社前
- 20:00 旧公民館前
- 20:30 旧公民館前 解散

10月14日(土)

9:30 石岡神社集合(自由運行)

10月15日(日)

- 4:30 石岡神社 (宮出し) 統一運行
- 17:30 石岡神社 (宮入り)

九月の俳句

信濃路やそばの花舞う風の谷
 男の料理教室や芋煮炊く
 太刀魚の銀鱗踊る岬かな
 お父にゃん

自由研究や家族総出の夏の果
 古民家や簾下して風の道
 秋静か常より多き一人言
 ヒヤシンス

蝸のか細き声や峡の里
 カンナ燃ゆ元気な子らは登校日
 噛み合わせぬ親子の好み秋果盛り
 さくら草

脳いきいきチェックをやってみませんか？

日常生活の中で“今日って何月何日だったっけ？”“最近もの忘れが増えたな”そんなことはありませんか？

脳いきいきチェックではタブレットを使った簡単な操作で、今のあなたの認知機能(注意力・計画力・記憶力・見当識・空間認識力)を知ることができます。測定後は結果説明と生活習慣に関するアドバイスも行います。ご家族、ご友人をお誘いの上ぜひお越しください。
※認知症診断ではありません。

【日時】 10月31日(火)9:30~12:00
【場所】 橋公民館
【対象】 市内にお住いの65歳以上の方
【所要時間】 約20分/人
完全予約制です。下記までお問合せください。
西条市役所包括支援課 0897-52-1412

生活の中での困りごとは西条市地域包括支援センターへ

西条市地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です。高齢者の皆さまが、地域でいつまでも安心して住み続けられるよう介護・福祉・健康等、様々な面からサポートを行います。

「近所の〇〇さん、最近顔を見てないな…」
「健康のために何か始めたい!!」
「介護が必要になったらどうしよう」など、まずはお気軽にご相談ください。

西条市地域包括支援センター



【お問い合わせ】

- ・西条市地域包括支援センター西条西部・小松
(Tel 0898-52-8221) 公民館から支援センターにお繋ぎすることもできます。
- ・橋公民館 (Tel 0897-57-9543) ◆公民館は西条市地域包括支援センターと連携しています◆

「ITOMACHI HOTEL 0」にて婚活イベントを開催します!

今回は、日本初のゼロエネルギーホテル「ITOMACHI HOTEL 0」を舞台の婚活イベント!
少人数で午前と午後でイベントが別れているためじっくりお相手とお話したい人にピッタリです。
(午前と午後は年齢設定が違います。)

自然と人にやさしいサスティナブルな空間で一緒に居心地の良い人生のパートナーを見つけてみませんか。当日は、「ITOMACHI HOTEL 0」の人気スイーツとクラフトジュースをお楽しみください。
みなさまのご参加お待ちしております♪



○今年度2回目イベント

【日時】 11月26日(日)
【会場】 ITOMACHI HOTEL 0 (西条市朔日市250-7)
【応募期間】 9月25日~10月15日

★30代からの

LOVE SAIJO de 愛イベント Vol.15(午前)
【時間】 10時00分~12時00分
【対象・定員】 33歳~43歳位の独身男性8人
30歳~43歳位の独身女性8人
※男女ともに本市在住・在勤の方もしくは西条市に移住希望の方を対象。
【参加費】 2,000円(センター支援金500円含む)
申し込みはこちらから →



★20代からの

LOVE SAIJO de 愛イベント Vol.15(午後)
【時間】 13時00分~15時00分
【対象・定員】 20歳~32歳位までの独身男性8人
20歳~32歳位までの独身女性8人
※男女ともに本市在住・在勤の方もしくは西条市に移住希望の方を対象。
【参加費】 2,000円(センター支援金500円含む)
申し込みはこちらから →



【問い合わせ】 えひめ結婚支援センター東予事務所(0897-47-4853)

橘の歴史・文化財探訪より

ごずてんのう

牛頭天皇(王) (野々市集会所の北)

神話の時代の日本では、古事記や日本書紀に登場する国生みの神、万物の創造の神は伊邪那岐・伊邪那美で最初に結婚した男女の神です。その子天照大神の弟である須佐之男命は性格が凶暴で、「天の岩戸」で事件を起こし、高天原から追放されますが、出雲国で八岐大蛇を退治したりして荒ぶる神、恐ろしい神とされました。科学の未発達であった奈良・平安時代に始まる御霊信仰は、非業の死を遂げた人々の復讐・祟りが怨霊となってあらわれ疫病や天災が生ずると恐れられました。



写真上；牛頭天皇の碑(野々市)

御霊会は疫病や怨霊を鎮めなだめるために、様々な行事や祭りによって追い払い、さらに退治できない御霊神を須佐之男命の強力な霊力で封じ込めてもらおうとしたのです。

また、牛頭天王はインドの祇園精舎の守護神の牛頭神であり、ギリシャ神話の怪物ミノタウロスの半牛半人にもつながるものと言われ、頭上に牛の頭を持つ忿怒相で表わされています。

桓武天皇の時代から京には様々な怨霊が出没し、それを鎮めるために御霊神社が建てられますが、効果がなく、そのため牛頭天王と須佐之男命を同一人物視し、除疫神、武道神として八坂神社(祇園社)に祀られるようになったのです。

祇園祭は古くは祇園御霊会と呼ばれ、貞観11年(869)、京の都をはじめ、日本各地に疫病が流行した時に始まります。

これは、「牛頭天王の祟りである」として平安京の広大な庭園であった神泉苑に当時の国数の66ヶ国にちなんで66本の鉾を立て、祇園の神を祀り、さらに神輿をも送って災厄の退散を祈りました。現在のハイライトは32基の山鉾巡行が7月17日都大路に繰り出すことです。この祭りは7月1日に始まり31日の疫神社夏越の祓で幕を閉じるまで各種神事、行事が繰り広げられます。都から離れたこの地方では、毎年7月20日、石岡神社で「おなごせはん」(夏越の祓)が行われ、茅の輪をくぐり、人形に名前や年令を書き、斎場へ納める風習が残されています。立花(橘)郷野々市にあった祇園社の分社はその後、石岡神社に祀られ、牛頭天皇の石碑のみがこの地に残されて現在に至っています。

なお、氷見上之川に鎮座の高尾神社は古くは牛頭天王社と呼ばれ、祭神は須佐之男命とその妃櫛名田比売命をお祀りしています。土地の人は「天王さん」と親しみを持って呼び、平成17年以後、高尾神社の玉井忠素氏によって大改修が施され神社は見事に蘇っています。玉井家は、40代1000年以上にわたって石岡神社の宮司を務められた社家であります。